

おおたけ市議会だより

OTAKE CITY

2016
(平成28年)

No.187

11

玖波祭(平成28年10月9日)

- | | | | |
|------------|------|------------------|-------|
| ◆第3回定例会 | 2ページ | ◆議会日誌 | 10ページ |
| ◆一般質問 | 4ページ | ◆12月議会日程 | 11ページ |
| ◆審議結果表 | 8ページ | ◆スワイルインタビュー・あとがき | 12ページ |
| ◆陳情／請願／意見書 | 9ページ | | |

第3回 定例会

総務文教委員会

主な審査内容

●大竹市立公民館設置及び管理条例
例及び大竹市立公民館使用条例の
一部改正について

解説

平成28年9月30日をもって小方公民館を廃止するため条例の改正をするもの。体育館の一部が岩国大竹道路の事業用地にあたること及び社会情勢の変化を踏まえ、小方公民館は廃止して体育館部分は解体し、残る研修室部分は「(仮称)地域福祉社会館」として整備するもの。

Q 公民館では無くなり、教育委員会の所掌を離れる。ボランティアの育成、子育て、地域の課題解決等について、コーディネーター(調整役)や企画する人をどう育成し、どこに配置するのかを問う。

A 現在、高齢者が住み慣れた地域に暮らせる地域づくり、地域包括ケアを推進している。これは介護保険制度の枠内で完結しない。ケアを通じたまちづくりでもある。今までの

社会教育活動にも通じる。また、地域の住民自身が地域をどうしていくのか、市民自治の考え方も必要である。その推進のために各中学校区への生活支援コーディネーターの配置を進めていく。その役割の人を育てていかなければいけない。地域住民で担えればよいが、行政の職員が担う可能性もある。

Q (仮称) 地域福祉社会館は、社会教育、生涯学習、福祉等、多方面で活用していくという話だが、社会教育、生涯学習分野について教育委員会はどうか関与していくのか問う。

A 総合市民会館の職員が中心となり、地域課題などを把握し、生涯学習講座の充実や課題の解決に向けコーディネーター(調整役)、ファシリテーター(進行役)としての役割を担っていきたい。公民館の廃止・改修は、大きな行政課題であり地域課題でもある。現在、公民館で活動されている生涯学習グループ、地元自治会、地区社協等の方々と意見交換し、繋がりが生まれている。今まで以上の社会教育、生涯学習活動をめざす。

【反対討論】

○「小方二丁目では会長を通じて唯一、大竹市に説明を求めたが、14名の役員が出られて大反対と言われた。私の考え方も同じである」

【賛成討論】

○「小方公民館は取り壊して跡地だけになるわけではない。改修が起爆剤になれば、高齢者が高齢者を見守るという時代に即応した施設ができ、新しいまちづくりが進む」



【その他の議案】

●平成28年度一般会計補正予算(第2号)

※採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決

本会議へ

【反対討論】

○「地域住民や公民館利用者に対して説明不足。地域の社会教育についても説明されていない。行政運営上の基本がなされていない現時点では、反対せざるを得ない」

○「教育委員会に於いても、社会教育の理念に基づき議論もなされていないのでは。シルバー人材センターの活動と公民館の役割を同居させる発想は受け入れがたい」

【賛成討論】

○「公民館が地域福祉社会館として街の中心となり小方新駅の設置運動と併せて学校跡地利用を含む亀居公園等、歴史文化のまちづくりに担当職員の努力を期待し賛成」

○「地域における社会教育にも貢献できる拠点としての方針を示していただいたこと、加えてまちづくりの機構改革を意図した方向性にも賛同する」

本会議での採決の結果

原案のとおり可決

第3回定例会は、平成28年9月6日～9月20日の15日間行われました。
詳細については、平成28年12月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、
市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページで録画中継もご覧いただけます。

生活環境委員会 主な審査内容

●平成27年度大竹市水道事業会計決算・「平成27年度工業用水道事業会計決算」・「平成27年度公共下水道事業会計決算」認定について

Q 3会計とも黒字決算になっているが、人件費は特に水道会計で減少しており、職員負担が大きくなっているとの懸念がある。トータルの人数も減っており、今後の体制について考えを問う。

A 人件費はその年度にいる職員の給与によって変動する。平成27年度では水道会計の職員数を減らし、下水道会計職員を増やして業務量に対応するため人員は要望したが、市全体で判断をする必要があるため、市長部局と協議していきたい。

Q 3会計共通の資産・経費について、例えば庁舎や上下水道局長の給与はどのように按分しているか、基本的な考えを問う。

A 3会計で相互に関連する経費については、負担割合に関する基準を設けて対応している。庁舎は平成6年に建設し、当時は水道事業、工業用水道事業の2事業であったため約半分ずつの負担で建設している。下水道事業は平成18年から所管している。その際に当時の会計別職員配置数により下水道職員が20%であったため、それに応じて設定している。職員の給与については、按分せず、どこかの会計に属している。

Q 日本中に小さな水道事業者があり、同様の水道事業をしている。国のほうで広域化するという話はないのかを問う。

A 今後小さな事業体は経営が厳しくなるということで、厚生労働省が広域化の検討について通知を行っている。広島県では、食品生活衛生課が主体となり、水道事業の推進会議を立ち上げ県内の事業体を集め、広域化の検討をしている。



●市道路線の廃止及び認定について

解説

・南栄下白石線―白石地区における都市計画事業の施行に合わせる路線を設定
・黒川18号線―黒川三丁目の団地内の道路を公衆用道路として市道認定
・立戸28、29号線―立戸一丁目団地内の道路を公衆用道路として市道認定

Q 立戸28号線について、随分以前に完成している。なぜ、この時期になって認定するのか。また、所有権はいつ変わったのか問う。

A 民間による開発行為により生じた路線であり、平成4年6月に、本市へ所有権移転している。過去の開発行為で市道認定をしていない路線は、今後精査し整理していきたい。

Q 南栄下白石線は、終点の位置を30メートル延伸するため、従来の認定を廃止し、新規認定をする。終点の地番が替わるのは理解できるが、起点と経過地の地番も変わっているのはなぜか問う。

A 昭和50年代に市内の全路線を廃止し、認定している。それから数十年が経過しているため、当時の地番から分筆や合筆の登記がされ、地番に変更が生じている。位置や規模は同じである。



延伸された南栄下白石線終点の様子
(平成28年10月19日現在)

【その他の議案】
●平成28年度大竹市介護保険特別会計補正予算(第1号)

※採決の結果、すべての議案が
原案のとおり可決



本会議での採決の結果

原案のとおり可決



山本 孝三

- 介護保険制度について
- マイナンバー制度について

北地 範久

- 大願寺地区造成事業の現状について
- 都市計画道路接続開通に伴う交通安全対策等について
- 太竹駅周辺整備事業の現状と今後の対応について
- 雨水対策事業の現状と今後の対応について

日域 究

- 大切なことは議会ファースト (fast) ですか
- 再度、大竹市選挙管理委員長に再点検作業の実態を問う

原田 博

- 犯罪被害者等支援条例の制定について
- 地域包括ケア構築に向けた市長のお考えを問う

山崎 年一

- 子どもの貧困対策について
- 岩国基地の諸問題について

寺岡 公章

- キャリアスタートウィークの状況と成果、今後の展望について

賀屋 幸治

- 小島雨水滞水池の現状分析と評価について

細川 雅子

- 小方地区における「人づくり・まちづくり」の進め方について

介護保険制度について



山本 孝三

問 法「改正」により、要支援1・2の認定を受けながらも、通所・訪問サービス給付が受けられなくなり、更に、福祉用具利用についても、今後介護2までの認定者は、自己負担・介護利用料2割に引き上げなど、本人や家族の負担増が心配されます。市の対応について伺います。

答 要支援認定を受けた方が、これまでと同様のサービスのほか、多様なサービスが受けられるよう仕組みづくりを進めています。国において介護保険制度改正の審議中であり、今後とも動向を注視し、対応していきたいと考えています。

マイナンバー制度について

問 国家権力により国民の個人情報や管理し、多額の税金を使って運用することに批判的意見が絶えません。現時点における登録件数及び利用状況、また、情報保護対策強化・制度運用拡大に要する負担等について、報告と説明を求めます。

答 マイナンバーカードは、公的身分証明書や所得税などの電子申告に利用できるもので、本年8月末現在で、2,292件交付しています。情報保護対策として、アクセス制御や内部不正防止対策を徹底します。現在は、新たにシステム化する業務は想定していません。



いきいき百歳体操(阿多田島にて)



北地 範久

雨水対策の現状と
今後の対応について

問 今年度、大竹地区・立戸地区に検討業務が予算化された。雨水対策元年と位置付け一日も早い対応、解決が望まれるが、今後の対応を問います。

答 新町雨水排水ポンプ場の整備は、道路と一体的に行うため、今年度は、道路線形や既存道路の接続などの概略検討を行います。

立戸地区は、冠水範囲と時間の軽減のため、流末の排水施設を整備します。概ね5年間の計画で、今年度は、調査設計を行います。

大竹駅周辺整備事業の現状と
今後の対応について

問 今年3月には再度陳情も提

出され、大竹駅周辺整備事業への市民の早期着工・早期完成の要望は強い。JRとの基本的事項の合意ができ、事業を加速度的に進める時と思われるが、今後の対応を問います。

答 大竹駅周辺整備事業は、基本設計案をもとに、関係鉄道事業者と事業費削減策を協議しています。調整が必要な機関が多く、事業規模の大きさ、特殊性などから、事業を円滑に進めるための体制作りは重要な課題と考えます。



郷水踏切から

【その他の質問】

○大願寺地区造成事業の現状について

○都市計画道路接続開通に伴う交通安全対策等について



日域 究

小方公民館廃止の経緯について

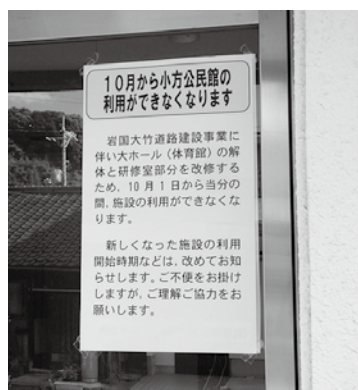
問 小方体育館が無くなることは仕方ありません。しかし公民館の1階の全部を公民館設置及び管理条例の変更をしてまで民間の法人であるシルバー人材センターにその拠点として提供する理由が分かりません。

議会にも満足な説明はなく、対象区域である小方中学校区の大部分の自治会長にも説明はされていません。唯一地元の要望で開催された小方二丁目自治会の住民対象説明会は「シルバー入居大反対」の大会唱でした。シルバーは高齢者の労務対策事業であり、公民館活動とも福祉事業とも違います。公民館を地域福祉会館と改称し、その1階はシルバーが占拠するという議案は、12月議会まで先送りし、その間に市民が納得するまで丁

寧な地元説明をすべきです。

答 小方公民館の廃止と改修後の方向性は、目途がついた段階の6月に、議員の皆様にお示ししました。集会機能として利用する小方3自治会役員や、趣味・スポーツ活動の団体など実際の利用者に配慮しながら、新たな施設の活用策、必要な機能、管理運営方法等を検討し、地域福祉活動、住民活動、生涯学習活動、避難所の4つの機能を持つ施設として整備する方針を定めました。

管理者は、陳情採択も考慮し、地域福祉推進の場とする施設の方向性に合致すると考え、大竹市シルバー人材センターを候補に、1階を使用する方向で協議しています。市民の皆様は主に2階の使用になります。稼働率からは曜日や時間帯の工夫で十分に機能を果たせると考えます。





原田 博

犯罪被害者等支援条例
制定への考えは

問 平成28年7月障害者施設で入所者が殺害された事件は、大きな衝撃でした。

一方、平成16年に制定された【犯罪被害者基本法】には、国・地方公共団体の責務などが示されており、役割、実行が問われます、本市の犯罪被害者等条例制定への考えを問います。

答 県及び県内市町の取組状況を参考に、犯罪被害者等支援条例の制定も含め、犯罪被害者等に対する総合的な支援策を検討したいと考えます。

地域包括ケア、
わたしたちは何をするの

問 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるとのうたい文句の地域包括ケアシステムの構築に向け、私たちは、どのようなことを心掛けていかねばならないのか、お考えを問います。

答 住民主体で健康づくりを進める地域もあり、介護予防意識が高いことが本市の強みです。高齢者自身も地域包括ケアシステムの担い手の一員であり、元気を維持し、地域にお住いの方がその地域の方を支える仕組みづくりを進めていきます。皆さんには取組に興味を持ち、積極的に関わって頂くとともに、自助・互助の心構えを持って頂くことが大切です。



山崎 年一

岩国基地の諸問題について問う

問 米軍は8月27日から31日まで硫黄島で訓練ができない場合、岩国基地で行うと通告しました。予備基地指定を受けた厚木・三沢・岩国の基地提供自治体や周辺自治体がすべて中止要請や抗議をしています。入山市長は、一度も中止要請や抗議をしていません。艦載機移駐を目前にして改めて市長の見解を求めます。

答 岩国基地で訓練をしないよう強く願うのは当然です。広島県も岩国基地で実施しないことや予備施設に指定しないことを要請しています。本市も、特に影響を受ける阿多田島への配慮とF35B配備に伴う騒音予測の早期実施と説明を要望しています。

子どもの貧困対策について問う

問 厚労省の調査では、我が国の子どもの貧困率は6人に1人が貧困状態で、貧困線は122万円です。本市の実態を正しく把握し地域の実情を踏まえた対策が必要です。子どもの貧困の実態把握について問います。

答 母子保健や児童福祉サービス等で保護者や子どもと接する際に把握に努め、具体的な支援や見守りにつなげることが重要と考えています。

子どもの貧困への支援制度は、広報紙等で周知に努めています。未申請の対象家庭を把握した場合には、個別に相談を進めています。





寺岡 公章

キャリア・スタート・
ウィークについて

問 今年の夏も市内の全中学2年生が5日間のキャリア・スタート・ウィークに挑みました。

約10年間継続しているこの事業ですが、受け入れてくださる市内事業所の絶大なご協力のもと、学校現場や教育行政では、長年、大変なご苦労をして生徒と事業所を結んでこられました。

これまでの取り組み、近年の状況、また今後の展望の他、学校での生徒受け入れや、効果を確保するための追跡調査、関係者によるキャリア教育の理念の共有について伺います。

併せて、わがまちプランの大きな柱、「大竹を愛する人づくり」との関連性をどう認識しておられるか、お聞かせください。



協力事業所に立てられたのぼり

答 開始から地道に受入先を増やし、今では70力所を超す事業所で職場体験を行っています。また、小中学校での受入は学校の現状や生徒の希望を聞き検討します。職場体験をした生徒の本市への就職状況は未把握ですが、大竹で働き住み続けたいと思うような生徒の育成に努めます。取組が形式的にならないよう学校や推進委員会できちんを確保し、子ども一人ひとりが自ら生き方を選択できる能力、態度を育成する取組を実現したいと考えています。

子どもたちが仕事という新たな視点でまちと接し、その誇りと愛着がやがて大竹に帰ってくることにつながると感じています。受入事業者とも一緒に子どもたちを育てる機運が醸成され大変感謝しています。



賀屋 幸治

小島雨水滞水池の
現状分析と評価について

問 大竹市の雨水対策の中で小島雨水滞水池は上流域の雨水調整機能を担っている。近年の地球温暖化による気象変動で、全国各地で記録的な豪雨被害が発生しており、本市でも雨水対策の充実が必要である。

小島雨水滞水池の航空写真を見ると滞水面積の約40%位が水面を葦で覆われ、土砂が堆積している様に見えるが、この状況で滞水池としての調整能力について現状をどのように分析し、どう評価しているのかを伺います。

また、直近流入水路の断面積が上流側（幅4.4m×深1.4m）に対し下流側（幅1.6m×深1.4m）が半分以下に絞られた区間があるが、この対策について伺います。



小島雨水滞水池

答 平成22年度に滞水池の横断面調査を実施し、おおむねの滞水能力が確保されていることを確認しています。

記録的な豪雨被害が全国で発生し、雨水対策の充実が求められますが、現状では大雨が予想される場合はポンプを先行待機運転し、滞水池の水位を予め低下させるなど、浸水被害等を未然に防ぐよう対応しています。引き続き、適切に維持管理を行い、雨水対策を行います。

小島雨水滞水池への水路断面は、改良を要する箇所がありますが、実施には相当の費用が必要であり、下水道事業全体のバランスと経営状況を考慮し時期や手法などを検討する考えです。当面は浚渫などの維持管理を着実に実施していきます。



細川 雅子

小方地区における「人づくり・まちづくり」の進め方について

問 市長は今議会において、地区公民館である小方公民館の廃止を提案されました。予定では、平成30年4月に、高齢者福祉に軸足を置いた地域福祉の活動の場、人は配置しない空間として再出発します。

地区公民館には、社会教育と併せて地域におけるまちづくりの拠点としての役割があります。小方地区における社会教育とまちづくりを今後どのように進めるのかお尋ねします。

(仮称) 地域福祉会館
の二階部分の図面



答 福祉という言葉 키워ドに、みんなが幸せになるため、お互いが支え合い、力を出し合って、新しい施設が機能する仕組みをつくり、市全体の発展につなげたいと考えています。そして(仮称)地域福祉会館を拠点に、さらに安心して過ごせ、きずなができるようなまちを目指していきたいと思っています。

今後の生涯学習、社会教育の推進には、総合市民会館の地区担当職員が中心となり、地域課題や学習ニーズの把握等に努め、生涯学習講座の充実や課題の解決に向けて、役割を担っていきたいと考えています。これからも、地域コミュニティの拠点として、また生涯学習、社会教育活動の場として、協働した取り組みができるよう工夫していきます。

第3回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案など	児玉朋也	末広和基	賀屋幸治	北地範久	西村一啓	和田芳弘	大井涉	網谷芳孝	藤井馨	山崎年一	日域究	細川雅子	寺岡公章	原田博	田中実穂	山本孝三	審議結果
議案第47号 大竹市立公民館設置及び管理条例及び大竹市立公民館使用条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○	●	原案可決
議案第48号 市道路線の廃止及び認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号 平成28年度大竹市一般会計補正予算〔第2号〕	—	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○	●	原案可決
議案第50号 平成28年度大竹市介護保険特別会計補正予算〔第1号〕	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号 平成28年度大竹市一般会計補正予算〔第3号〕	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
認第4号 平成27年度大竹市水道事業会計決算の認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認第5号 平成27年度大竹市工業用水道事業会計決算の認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認第6号 平成27年度大竹市公共下水道事業会計決算の認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

○：賛成 ●：反対 —：議長（議長は採決に加わりません）

陳情・請願・意見書

請願・陳情・意見書名 請願・陳情・意見書提出者	要 旨	●付託委員会 ○委員会の討論 【委員会の結果】	【本会議の結果】
小方小学校移転跡地に「公園」設置陳情 小方一丁目南自治会 会長 飯森 仁志 ほか2団体	①地区自治会の各種イベントが出来る広場であること ②幼児～高齢者までが使用できる広場であること ③小方小学校跡地としてのモニュメントを設置すること ④災害対策本部が設置された際の第2次避難場所の新規指定	●小方地域まちづくり対策特別委員会 ○「旧小方小・中学校跡地の利活用の動向を踏まえて審査する必要がある」 【継続審査】	【継続審査】
港町ポンプ場の移転までにおける対応についての陳情 大竹市港町一丁目1番26号 港町一丁目自治会長 小幡 哲雄	今秋オープン of 株式会社コメリの開店後について、車の渋滞が予想される。については、当自治会の案であるが、港町ポンプ場が移転すると渋滞は大分緩和されると思う。平成24年開催の地区懇談会の時に移転は岩国大竹道路の工事と合わせてになるとの土木課の回答であったが、大林組の敷地側道路を広くして、車の通り抜けを検討するとの話もあった。現在、大林組はここを使っていないので、応急的に検討して頂きたい。	●生活環境委員会 ○「大型商業施設開店後の交通状況を踏まえて審査する必要があるため」 【継続審査】	【継続審査】
少人数学級の推進などの定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択について 連合広島大竹・廿日市地域協議会 議長 堀谷 俊志 広島県教職員組合大竹廿日市支区 支区長 平野 克博	将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要である。子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要がある。 意見書(案)を採択し、国の関係機関(内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣)へ提出していただくようお願いする。 (意見書は下記参照)	●総務文教委員会 ○「少人数学級の推進については、学力向上や授業改善という点において効果的な取り組みであり、義務教育費国庫負担割合を1/3から1/2に引き上げることについても、教育施策の充実と教育水準の向上につながるもの」 【採択】	【採択】
次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出について 大竹市議会議員 田中 実穂	関係行政庁に対し、次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書を提出しようとするもの。 (意見書は下記参照)	付託なし	【採択】

次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書(抜粋)

平成27年6月30日に閣議決定された「骨太の方針」の中で、次期介護保険制度改正に向けて、軽度者に対する福祉用具貸与等の給付の見直しを検討することが盛り込まれました。現行の介護保険制度による福祉用具、住宅改修のサービスは、高齢者自身の自立意欲を高め、介護者の負担軽減を図るという極めて重要な役割を果たしています。また、安全な外出機会を保障することによって、特に一人暮らしの高齢者のとじこもりを防ぎ、社会生活の維持につながっています。

仮に軽度者に対する福祉用具、住宅改修の利用が原則自己負担になれば、特に低所得世帯等弱者の切り捨てになりかねず、また、福祉用具、住宅改修の利用が抑制され重度化が進展し、結果として介護保険給付の適正化という目的に反して高齢者の自律的な生活を阻害し給付費が増大するおそれがあります。

以上の理由から次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討を行うことを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成28年9月6日

(提出先) 内閣総理大臣、厚生労働大臣

少人数学級の推進などの定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書(抜粋)

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国負担割合を2分の1に還元すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成28年9月20日

(提出先) 内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

議会日誌

8月～10月

- 8月 3日 基地周辺対策特別委員会
広報広聴特別委員会
8日 石油基地防災対策都市議会協議会夏季実行運動(東京都)
12日 広報広聴特別委員会
18日 生活環境委員政策研究会
小方地域まちづくり対策特別委員会
地方港湾整備促進期成同盟会総会(大崎上島町)
26日 基地周辺対策特別委員会
議員全員協議会
30日 議会運営委員会
広報広聴特別委員会
- 9月 6日 本会議
7日 本会議
8日 総務文教委員会
総務文教委員政策研究会
9日 生活環境委員会
生活環境委員協議会
12日 総務文教委員会
基地周辺対策特別委員会
小方地域まちづくり対策特別委員会

- 議会改革調査会
14日 議会運営委員会
生活環境委員政策研究会
20日 本会議
決算特別委員会
23日 決算特別委員会
28日 広報広聴特別委員会
29日 決算特別委員会
10月 4日 決算特別委員会(～6日)
7日 議員全員協議会
11日 広報広聴特別委員会
基地周辺対策特別委員会
17日 広報広聴特別委員会
広島県市議会議長会臨時会(尾道市)
19日 小瀬川総合整備促進期成同盟会要望活動(東京都)
- 【視察来訪】
10月 12日 茨城県ひたちなか市議会
「小中一貫教育(小方学園)について」
25日 長崎県大村市議会
「公共交通について」
鹿児島県南種子島町議会
「岩国基地に伴う再編交付金について」

政務活動費って？

○政務活動費とは

政務活動費とは、「地方自治法」、「大竹市議会政務活動費の交付に関する条例」等に基づき、議員がその職責・職務を果たすために行う様々な政務活動の経費の一部として交付されるものです。議員は、当該年度に係る政務活動費の収入額、支出額、残額を記載した収支報告書及び領収書等の証拠書類を添えて議長に提出しています。なお残額は返還します。平成 27 年度の残額（返還額）は 1,248,448 円です。

○交付額は？

1 人当たり月額 18,000 円 × 12 ヶ月です。(年額 216,000 円)

議員 16 人の総額は 3,456,000 円です。

○どんなことに使えるの？

調査研究に係る経費、研修会等に参加に要する費用、議員が行う活動や市政について住民に報告するために要する経費、活動に必要な資料作成に要する経費、活動に必要な図書や資料等の購入に要する経費などに使えます。

○収支報告書等は閲覧できるの？

情報公開の手続きを経て、閲覧または写しの交付を請求できます。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。(Tel 59-2183)

「市政のあらまし(平成28年度版)」 を販売しています。(1冊1,000円)

市のあゆみ、人口規模や予算・決算状況をはじめ、市の業務全般にわたる状況が集約されています。

議会事務局で販売しています。

大竹市情報公開コーナー、図書館等でも閲覧できます。



議会を傍聴しませんか

市議会では予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

本会議、委員会とも傍聴できます。議会がどのように運営されているか傍聴してみませんか

12月議会日程(予定)

本会議	12月1日(木)
本会議(予備日)	12月2日(金)
常任委員会	12月5日(月)
//	12月6日(火)
特別委員会	12月7日(水)
本会議	12月14日(水)

請願や陳情の提出方法

どなたでも市政に対する意見や要望を、直接、市議会に届けることができます。

① 請願と陳情の違い

請願は、委員会で審議された後、本会議で採択(請願に賛成)か不採択(請願に反対)かが決められます。※請願書の提出には、市議会議員の紹介が必要です。

陳情は、市民、市内事業所に勤務する方、市内の各種団体に所属する方から提出されたもので、市政に直接関係するものについては、委員会で審査されます。その後本会議で審議され、採択か不採択かが決められます。

委員会では審査されない陳情書もあります。その場合は、議員に写しを配布します。

② 書き方

件名	平成__年__月__日
	大竹市議会議長__様
住所	_____
氏名	_____②
紹介議員	_____②
趣旨	_____
項目	_____

※陳情書の場合、紹介議員の欄は必要ありません。

③ 提出先

大竹市役所5階の議会事務局に提出してください。事前に、お電話でのご相談も受け付けています。

(☎59・2183)

8月号の記事の訂正

◇P5 細川議員の一般質問について

上段のタイトル

市民の関心事に対する説明責任について問います

を削除し、下段の

ふるさと納税の使い方の「見える化」で、まちを元気に！

を上段に入れ替え、タイトルとします。

関係者の方々には大変ご迷惑おかけしました。お詫び申し上げます。



第14回のインタビューは、大竹市消防団小型ポンプ操法大会で
3回連続優勝された**大竹市消防団 第4分団**の方々です。



第14回 スマイル インタビュー

第4分団は大竹市代表として、
来年広島県大会出場にむけ練習に
取り組み始めています。選手の皆
さんと分団一体の姿を紹介いた
します。

練習でご苦労されたことは？

仕事の都合で選手全員が揃いに
くい事です。業種、勤務形態が違
うので、一部選手での訓練に経験
者が代打で入ったりしながら、早
朝5時からしたこともあります。

この分団の特徴は、経験者豊富
で、指導者に恵まれていること。
2ヶ月で52回の練習や夜9時以降
も含め、交代勤務の時間調整に苦
慮しながらも、分団全体で支えな
がら行っています。

先輩として選手メンバーはどうで
すか？

最初は、実にしごきがいがある
なー、鍛えがいがあるなーと思い
ましたが、大会前には、過去の僕
たちより上をいくまで育ってくれ
ました。



〈分団長〉 川本啓一 〈指揮者〉 田丸弘樹
〈1番員〉 太田悠一 〈2番員〉 小田上尚典 〈3番員〉 土本 智
〈補 欠〉 今田光明 〈補助員〉 榊田財得 (敬称略)

自分も出てほしいと思っていま
したが、譲ってよかったと思いま
した。

指導者から見ても、自分たちより成
長したといえるのは、先輩冥利に尽
きますね。

本日はお忙しい中、地域の防災訓
練や活動についてお話をいただき
ましてありがとうございました。



あ と が き

早いもので昨年広報広聴特別
委員になり1年がたち、今年も
余すところあと2ヵ月。議会の
開催予定も来月の12月定例会を
残すだけとなりました。

議会改革を進めるためにも、
議会報告会など開き、前進する
議会を目指してまいりました。

これからも引き続き、「笑顔・
元気 かがやく大竹」をテーマ
に、議会も邁進してまいります。

私たち広報広聴特別委員も正
確な情報を伝えることを念頭に
置きながら、市民の皆さまに市
政の現状について、より理解を
深めていただけるよう努めます。

また、期待や疑問にこたえ得
る議会となるために、そして市
民の皆さまの声を議会に反映さ
せるためにも、この議会だより
の果たす役割を最大限発揮でき
るよう、読みやすく、見やすい
ように改善を図っていききたいと
思います。

ご意見ご感想などがござい
ましたら、ぜひお寄せ下さい。
どうぞよろしくお願い致し
ます。



広報広聴特別委員

委員長
副委員長

山崎 年一
和田 芳弘
末広 和基
賀屋 幸治
北地 範久
西村 一啓
日域 究

発行・平成28年11月1日 大竹市議会 広島県大竹市小方二丁目11-1

TEL 0827-5912183

市議会だよりは市ホームページ
にも掲載しています。